

李漢章의 第七十四師와 激戰

南方○로 潰走하는 敵營 追擊中의 沼田部隊는 二日午後一
南方十力里) 牙福榮部隊는 同時刻安福莊(泰安西南十二力里) 營

[illegible]

焦土化 시킴 計劃?

御祝電言御交換

下、湖正會堂、川力、國大統領閣
下、又天皇、皇后陛下、西宮、
三國學府陛下、各貴御殿、
近衛首相
改務、

全般的으로 反動의 徵候

(三) 米國經濟의 後退가 注目

天井

見鯉

過制

現著

그리고 한때
인류레를
할것이니

米	白	進
行〇二五五	難〇一四九	穀〇六二三

早大統領の一般敎書

【우산신문三日發同盟】 大統領領은 三日正會에 對하여 一般敎書를 보내바、大統領領의 危險에 對處하는 米國의 國防強化를 力하고 있다

米政府는 米國並諸外國의 權利를 尊重하고 國方力을 維持한다云云

의 衣裳을 力殺하고世
喝모조리사의 終結의 開
會의 爲으로 具體的政
策을 期待한 一邦士人
인것이다 大體說明 朝鮮
國內問題에 轉生 朝鮮
軍에 對하여서 亡 一國年

國內問題의 集注

말고 勞資關係 是正에
竭力說하고있다

政府機關銀行

設立方針言遂決定

아름다운 나의
農業高官死罪

農業高官死刑

對英市支局의 報告에依하면 內 마루면의 社會主義共 黨黨人 支團以下 八名

이 10월 10일 蘇聯邦에
출발하고 蘇聯邦에
출발하고 蘇聯邦에

寧邊

道會議員 康基源

製導元 寧邊捐織所

寧邊崇德學校

鮮滿織造工場

共益商會

寧邊產業組合

寧邊和信連鎖店

鐵貸商會

寧邊郡職員一同

神農

金龍燐商店

古城警察官駐在所一同

古城面事務所

無名氏

永昌木工所

宜祿瑞

梁信奎

申允亨

寧邊警察署

小島清實

寧邊稅務署

全永道

八院農民共生組合

尹光熙

龍浦殖產契

永昌染織所

安榮生

花露館

金吳兌

球場

地下金剛蟻龍館保險會球場事務所

元濟醫院

魚龍金礦事務所

同春旅館金龍官

芝山醫院長車

明庭植

崔鴻基

金元彬

金鳳均

明康植

三山園

梁元彬

鄭贊箕

金以兌

崔元龍

吉斗七

許希沐

職員一同

張慶福

李氏糖業作業場

金鳳周

新興學院

鄭秉淵

李處奎

李鐵

李廷樹

明大醫院

金元彬

金鳳均

明康植

三山園

梁元彬

鄭贊箕

金以兌

金鳳周

新興學院

鄭秉淵

鑛山の災害事故防止爲

鑛業警察規則を制定

今日發布九月一日實施

施設官合理化

從業の安全企圖

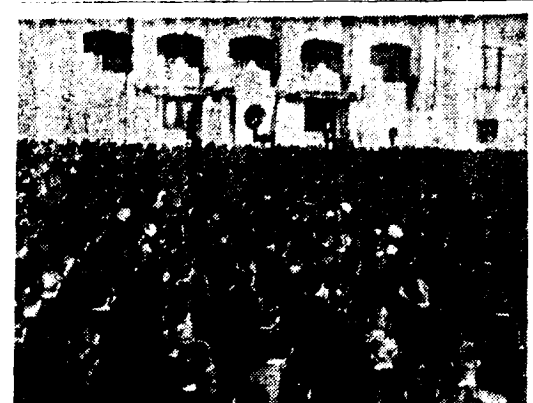
五十萬大鑛夫權益保護

鑛業警察規則は、鑛山の災害事故防止を目的として制定されたものである。この規則は、鑛業警察の職務、権限、及び從業員の安全確保に関する事項を規定している。特に、鑛山の施設官の合理化と、從業員の安全企圖が強調されている。この規則は、今日發布され、九月一日から實施される。鑛業警察は、鑛山の安全確保に努め、災害事故の防止に貢献するものと期待されている。

九金以上製品禁止

今日朝鮮に施行

特殊品の製造に許可が必要
總督府令〇三發布



總督府始務式

三千名集合に舉行



千萬女性の誕生

兩專門校の靈胎

淑明女專の明年に開校하고

女子醫專は今春に生徒募集



人王

再昨年覇者の天理中學

養正軍堂堂擊退

普專軍惜敗

怨恨の個差

早稲田

白金禁止

七日に施行

酷暑16度6

あと3日繼續

清津に大火

損害額、五萬餘圓

神宮氷競

三回戦

한글 알
신앙
心琴街
程遠里4은陽漢
一라빅

世界運動靴
世界運動靴
世界運動靴

喘息神經痛
中風・高血壓
新年「祝辭」
今博士・研究發表

新學期生徒募集
大書出
天祥印

百補丸
堂和平
本報京販
光七三〇番

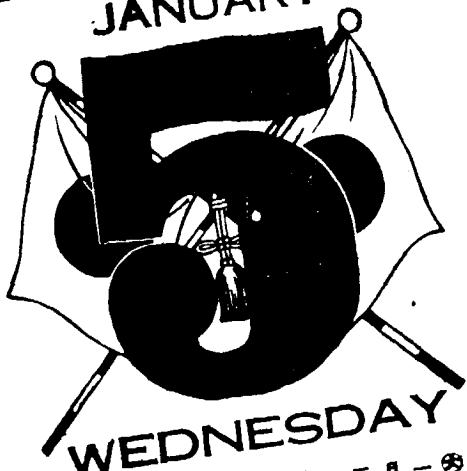
昭和の常識

日本報社
東京市丸の内區
本町二丁目一
番一號
電話
二二二二
二二二三
二二二四
二二二五
二二二六
二二二七
二二二八
二二二九
二三三〇
二三三一
二三三二
二三三三
二三三四
二三三五
二三三六
二三三七
二三三八
二三三九
二三四〇
二三四一
二三四二
二三四三
二三四四
二三四五
二三四六
二三四七
二三四八
二三四九
二三五〇
二三五一
二三五二
二三五三
二三五四
二三五五
二三五六
二三五七
二三五八
二三五九
二三六〇
二三六一
二三六二
二三六三
二三六四
二三六五
二三六六
二三六七
二三六八
二三六九
二三七〇
二三七一
二三七二
二三七三
二三七四
二三七五
二三七六
二三七七
二三七八
二三七九
二三八〇
二三八一
二三八二
二三八三
二三八四
二三八五
二三八六
二三八七
二三八八
二三八九
二三九〇
二三九一
二三九二
二三九三
二三九四
二三九五
二三九六
二三九七
二三九八
二三九九
三四〇〇

新年還春



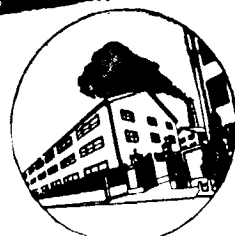
JANUARY



日四月二十(日)日五月一

(會集年新)

本一斗の上計
勝つて己の心をしめるべ
き本一斗は健康上に
油新せよ
消化と
口香のし
仁丹を
たかすのいびく増健
と。健康美をさるかにしよう



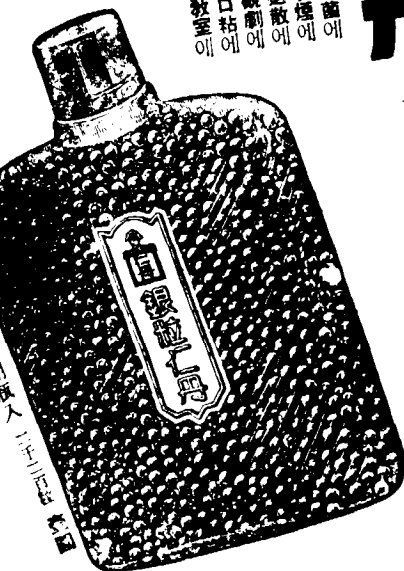
工一第 及社本

戦争はいつまでも
健康はいつまでも

今年も
勢頭早

仁丹
常用

元氣充溢に
清血補血に
口瘡社交に
飲酒過量に
訪問接客に
思考に
消化に
解毒に
保衛明瞭に
食後食前に
宴會食前に
香煙吸込に
救急回生に
商談接衝に
口に殺菌に
飲酒過量に
悪疫退散に
美言観劇に
口瘡口粘に
授業教室に



御徳用輸入 仁丹

・社會式株丹仁下森・

